

NHK大河ドラマ「花燃ゆ」がスタート 素彦と文の「至誠」の物語がお茶の間に届きます

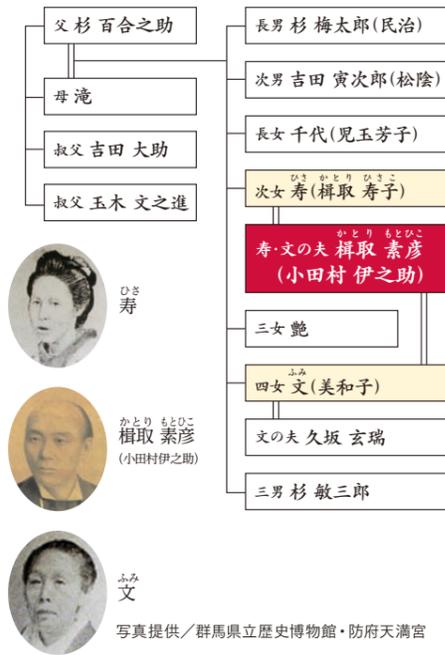
問い合わせは 文化国際課 ☎027-898-6992

1月4日(日)からスタートするNHK大河ドラマ「花燃ゆ」は、吉田松陰の妹で、初代群馬県令・榎取素彦の妻となる文が主人公です。ドラマのタイトル「花燃ゆ」は、吉田松陰の残した種が激動の時代の中で、家族や松陰の開いた松下村塾の塾生によって芽吹き、やがて花となり、燃えるように咲き誇っているイメージから命名。素彦と松陰は同郷で親しく、互いに尊敬しあう仲でした。

こと、日本の主要輸出品である生糸の一大産地であったため、この産業の振興が急務であったことから、重要な地には相当の人物が県令になる必要があったためと考えられます。また、当初県庁は高崎に置かれていましたが、前橋の有力者たちが県庁を誘致するため、素彦に協力を約束。その至誠に感動し県庁を前橋に移転させたことなどから、前橋の恩人と呼ばれています。

その素彦は松陰の実家である杉家の次女・寿(後の寿子)と結婚しますが、寿は素彦の群馬県令在任中に

〈人物相関図〉



NHK大河ドラマ「花燃ゆ」2015年1月4日(日)放送開始

- 日曜日 _____
 ●総合テレビ 午後8:00~
 ●BSプレミアム 午後6:00~
- 土曜日 _____
 ●総合テレビ 午後1:05~(再)

満42歳の若さで他界。一方、杉家の四女・文(後の美和子)は夫で松下村塾の塾生・久坂玄瑞が戦で敗れ自決し、夫のいない暮らしを送っていました。杉家の母・滝の勧めもあり、素彦と文は再婚。その後、文は夫を懸命に支えました。

主人公の文を中心に、素彦など松陰の志を継いだ人たちが織り成すドラマ「花燃ゆ」。このドラマを体験できる「初代県令・素彦と文 ぐんま花燃ゆドラマ館」が、1月10日(土)にオープンします。

大河ドラマ「花燃ゆ」統括プロデューサー 土屋勝裕さんコメント

ドラマの中で群馬が登場するのは後半の方だと思いますが、榎取素彦は群馬の生糸産業を支え、教育にも力を入れていました。当時の群馬は教育水準が高かったのですが、きちんと学ぶということが、日本の近代化を支えていたということを描けたらと思っています。群馬が登場するまで見守っていただき、楽しみにしていただけだと思います。

初代県令・素彦と文 ぐんま花燃ゆ大河ドラマ館



ぐんま花燃ゆ大河ドラマ館でドラマの世界を体験してください。

ドラマ館キャラクター もとひこくん

「初代県令・素彦と文 ぐんま花燃ゆ大河ドラマ館」が県庁昭和庁舎2階にオープン。約400平方メートルのスペースは、ドラマの世界を体験できる展示にあふれています。

日時 1月10日(土)~平成28年1月31日(日) (11月14日(土)・15日(日)を除く)
 午前9時~午後5時 (1月10日は正午から)
 費用 下表のとおり

夫、素彦の気分を満喫できますよ。



県令室再現 榎取素彦の時代の県庁の県令執務室を再現。典礼用の県令服を身につけて、県令席で記念撮影ができます。「撮影ポイント」以外での写真撮影はできません。

富岡製糸場チャリティーコーナー 富岡製糸場と絹産業遺産群は素彦とも深い関わりが。世界遺産の保存のためのチャリティーに参加しませんか。

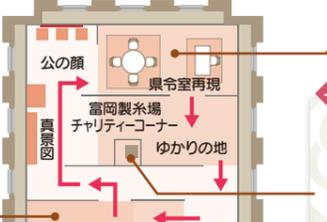


ドラマ館キャラクター ふみちゃん

大河ドラマと素彦・文・寿子

シアターコーナー ドラマの萩などのロケ撮影風景と素彦の群馬での業績を紹介。出演者の撮影こぼれ話なども聞けます。

明治時代の前橋を見てみよう 明治時代の前橋市をCGで再現。この頃の前橋の鳥瞰図「真景図」も見られます。



大河ドラマの世界と素彦の素彦

大河ドラマの世界と素彦の素彦 松下村塾のセットが再現され、ドラマの世界にひたれます。セットの図面やスケッチ、デザイン画など、大河ドラマの世界がどのように作り出されているのを見られます。

大河ドラマと素彦・文・寿子 素彦と寿の衣装展示やドラマのあらすじ、人物相関図、群馬県と素彦、寿、文の関わりなどのパネルを展示。

明治維新の志士、相性診断&榎取素彦クイズ タッチパネルに表示される設問に答えると、自分と相性の良い志士のイラストが表示。相性の良い志士が出たら、そのイラストカードをプレゼント。



ドラマ館キャラクター ひさちゃん



前橋学芸員インタビュー 胸が弾む想い

ぐんま花燃ゆドラマ館 入場料金

種類	区分	未就学児は無料	
		前売り券 (販売期間1/9迄まで)	当日券
一般入場券	大人(高校生以上)	400円	500円
	子ども(小中学生)	160円	200円
*特別割引入場券	大人(高校生以上)		400円
	子ども(小中学生)		160円

*障害者手帳、ぐんまパスポート、ぐんまシニアパスポート、記念共通パスカードなどの提示で特別割引を適用

前橋学芸員インタビュー 窪田麗子さん
 ドラマ館に来たお客さんを、希望に応じて素彦や文にゆかりがある場所にご案内します。お客さんの意見を尊重しながら、「もう一度前橋に来たい」と思ってもらえるようにしたいと思っています。今から胸が弾む思いです。